



ばるっこ

学校教育目標

～豊かな感性、確かな学力を身に付け、
たくましく未来を拓く子どもの育成～

中原小 めざす3つの「あ」

あいさつ **あ**りがとう **あ**きらめない

北九州市立中原小学校 校長 針尾 泰久

中原小のすばらしい子どもたち！

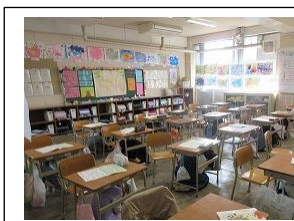
先日、地域の方からうれしいお話をいただきました。内容は、10月31日（木）に、校区内の交通量の多い交差点を、白杖を使っている高齢の女性の方が渡ろうとしていたようです。その様子を見た5年生の男児2名が、「段差があります。気を付けて渡ってください。」と声をかけただけでなく、高齢の女性の手を引いていっしょに渡ってくれたとのこと。お電話は、ご本人からいただきました。お電話のお話では、「子どもたちの手が、とても温かかったです。」「渡り終えた後に、お気をつけて。」とやさしく声を掛けてくれました。」「温かい気持ちをもった子どもたちの行為に涙が出ました。」「とお話をいただきました。

このうれしいお話をいただきましたので、給食時間に二人の子どものすばらしさ、心の温かさについて子どもたちに伝え、昼休みに校長室にて善行表彰をしました。

学校通信第11号でも同じように3年生の男児2名が年長者を助けたことに感謝された地域の方から連絡をいただきました。本校の宝です。地域会議等で、また自慢をしようと考えています。

緊急地震速報訓練を実施しました！

津波防災の日の11月5日（火）に緊急地震速報の訓練を実施しました。この訓練は、平成20年度より毎年2回、全国的な訓練として実施されているものです。学校においては、夏休み後のシェイクアウト訓練（地震・津波対応）を実施しています。地震はいつ起きるか分からないことからどのような場所にて、どのような強い揺れにあうかもわかりません。緊急地震速報は、地震発生後、強く揺れる前に揺れが来ることを伝えることを目標とする情報です。この緊急速報が発表されてから対象となる地域が強く揺れるまでには、数秒～数十秒であると言われています。もしもの時には、右の資料（気象庁HPより）を参考にしてください。



緊急地震速報が発表されたら

あわてず、まず身の安全を！

緊急地震速報を見聞きしたとき、揺れを感じたときは危険な場所から離れるなど、状況に応じて身の安全の確保を

屋内では

- ・頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- ・あわてて外に飛び出さない
- ・むりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- ・つり革、手すりにしっかりつかまる



エレベーターでは

- ・最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



屋外では

- ・ブロック塀の倒壊に注意
- ・看板や割れたガラスの落下に注意



車の運転中は

- ・急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす
- ・ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



1 震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります

Yahoo! ニュース
オリジナル
監修：気象庁